

第 222 回友の会 皇子が丘公園

～琵琶湖の見える丘を逍遥～

日時 12 月 10 日（日）

場所 大津市皇子が丘公園

天候 晴れ

参加者 32 名（内子ども 1 名）スタッフ 10 名 合計 42 名

今年最後の友の会は風もない好天に恵まれ、申し分ない観察会となった。今日のコースは駅近にもかかわらず、広々とした公園で、小さな池もあり、春にはトンボ見られる自然豊かな所だ。まだ紅葉を見ることができ様々な葉の色が楽しめる。また降り積もった落ち葉を踏みしめるのも気持ちいい。

参加者の皆さんに好きな色の葉やドングリを拾ってもらい、店開きに披露することとなった。指導員の説明を聞きながらモミジバフウ、フウ、ラクウショウ、メタセコイヤなどの実を拾った。目を遠くに移すと同じ樹木でも黄色、オレンジ色、赤などに色づき、うっとりするほど綺麗だ。

参加者の中に小学 4 年生が祖母に連れられて参加していた。熱心にメモを取っていたので、特に何が好きなのか話してみても、反応をみることにした。友の会にとって子どもは貴重だ。子どもがいるだけで、場が和む。今日はこの子に焦点をあてた。これを機会に友の会のファンになってもらいたいと思った。暫くして、彼がひどく傷ついたプラタナスの葉を持ってきて、「何かに食べられたのですか」と質問してきたので、「プラタナスグンバイという虫の仕業の可能性が高いですね」と説明した。

今日は 12 月とは思えない暖かさで、きっと成虫越冬の虫が顔を出すと思っていたら案の定、モンキチョウ、ウラギンシジミ、クサギカメムシ、エサキモンキツノカメムシが活動していた。小学 4 年生の元へクサギカメムシを持って行くと、後退りしたので、「カメムシは苦手」と聞いたら「カメムシがカバンに止まっていて、それがトラウマになって苦手」と答えてくれた。そして、最後に「1 月の友の会はカモなど冬鳥の観察をします。来てくれますか」と聞いたら、4 年生とその祖母は声を合わせて「1 月も 2 月も行きます」と言ってくれた。

文責（弓削俊彬）



店開き



ラクウショウの説明



ケヤキの樹形



ラクウショウの葉



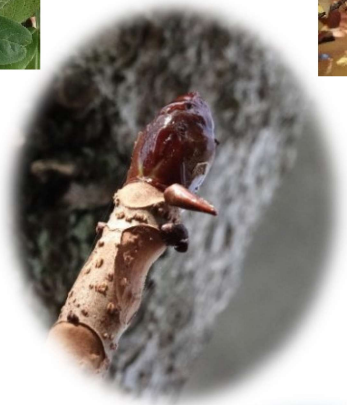
シナサワグルミの葉



フウの実



タンキリマメ



トチノキの冬芽



ヒヨドリジョウゴの実



ハラビロカマキリの卵鞘



ヒマラヤスギのニードル



雪虫



ホシヒメハウジャクの幼虫



クズの葉痕



マルバヤナギの巨樹



絵入り葉書と葉の記念品



表彰参加者への記念品渡し